

平成 24 年度 抛出委託単価について

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
理事会・評議員会 資料
平成 24 年 12 月 4 日・17 日

● 「抛出委託単価」算出の計算式

$$\text{抛出委託単価} = \frac{(\text{①想定額} - \text{②「現に要した費用」の見込金額}) \times 1/2}{\text{④特定事業者からの再商品化委託申込量の総量}} \times 1.05$$

<平成 24 年度 抛出委託単価の算出根拠>

		①想定額※ (円)	②「現に要した 費用」の見込額 (円)	③ = (① - ②) × 1/2 合理化抛出金 の見込額 (円)	④再商品化 委託申込 見込量 (トン)	平成 24 年度 抛出委託 単価 (円/トン)
ガラスびん	無色	411,160,947	432,590,857	0	145,618	0
	茶色	442,880,360	427,064,000	7,908,180	114,999	100
	その他	685,219,324	649,859,714	17,679,805	104,229	200
PET ボトル		412,011,986	255,822,136	78,094,925	288,450	300
紙製容器包装		50,295,406	23,100,000	13,597,703	41,600	400
プラスチック製容器包装		37,559,159,000	34,831,470,000	1,363,844,000	934,000	1,600

注 1) 市町村への合理化抛出金は、想定額よりも「現に要した費用」が下回ってはじめて抛出されます。

注 2) 計算の結果、③ = (① - ②) × 1/2 がマイナスあるいは 0 (ゼロ) となる場合、抛出委託単価は 0 (ゼロ) となり、合理化抛出金は生じません。

注 3) 合理化抛出金の見込額、再商品化委託申込見込量、抛出委託単価は端数調整しています。

※平成 24 年度 想定額の求め方 (「想定単価」 × 「想定量」)

素材別/再商品化手法別		想定単価 (円/トン)	想定量 (トン)	想定額 (円)
ガラス びん	無色	3,812	107,859.64	411,160,947
	茶色	4,264	103,865.00	442,880,360
	その他	6,331	108,232.40	685,219,324
PET ボトル		2,083	197,797.401	412,011,986
紙製容器包装		1,852	27,157.347	50,295,406
プラスチック製 容器包装	材料リサイクル(トレイ)	23,858	760	37,559,159,000
	材料リサイクル(トレイ以外)	70,510	340,871	
	油化	68,935	0	
	高炉還元剤化	40,632	32,308	
	コークス炉原料化	43,188	206,179	
	合成ガス化	40,172	81,874	

注 1) 想定量は特定事業者負担分のみ。 注 2) 想定単価、想定額は消費税を含まず。

(参考) 平成 23 年度 抛出委託単価について

<平成 23 年度 抛出委託単価の算出根拠>

		①	②	③ (①-②) × 1/2	④	③ ÷ ④
平成22年度分		想定額※ (円)	「現に要した費用」 の見込金額 (円)	合理化抛出金 の見込金額 注 1) (円)	再商品化 委託申込 量の総量 (トン)	平成 23 年度 抛出委託単価 (円/トン)
ガラスびん	無色	405,811,987	416,366,764	0	148,219	0
	茶色	438,008,270	426,648,648	5,679,811	112,477	100
	その他色	663,879,422	623,188,926	20,345,248	101,840	300
PET ボトル		411,954,876	175,528,444	118,213,216	265,295	500
紙製容器包装		52,237,826	24,600,000	13,818,913	39,500	400
プラスチック製 容器包装		38,589,515,000	34,385,218,000	2,102,148,000	837,000	2,700

注 1) 計算の結果、(①-②) × 1/2 がマイナスあるいは 0 (ゼロ) となる場合は、合理化抛出金は 0 (ゼロ) となります。

注 2) 合理化抛出金の見込金額、再商品化委託申込量の総量、抛出委託単価は端数調整しています。